

令和3年度 第4回久御山町上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時	令和3年11月22日（月） 10:00～11:00
場 所	久御山町議会棟4階特別会議室
次 第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) パブリックコメントの結果報告について (2) 久御山町下水道ビジョン（案）の修正について (3) 答申（案）の修正について (4) 今後のスケジュールについて 4 閉会
出席者	（委員） 西垣会長、西村副会長、松若委員、片岡委員、水野委員、三井委員、林委員 欠席：奥戸委員 （事務局） 岡本事業建設部長、高山上下水道課長、奥田課長補佐、三上課長補佐、 松林課長補佐、岩上係長、小澤係長、有限責任監査法人トーマツ1名

会議

1 開会

- ※ 会議成立の報告
- ※ 関係人の出席の報告
- ※ 配布資料の確認

2 会長挨拶

- ・11月になってからも暖かい日が続いていたが、今日は久しぶりに雨が降った。
- ・この雨が降らなかったことで、琵琶湖の水が足りなくなってきており、現在、湖面が例年のマイナス45センチとなっている。
- ・45センチ湖面が下がると、公園の水際から湖面が後退し、湖面の底が見えたり、貝が取れたりということがあり、坂本では、戦国時代の遺構が出てくることがあった。
- ・このまま雨が降らなければ、節水を始めるという事態に至ることとなる。
- ・私が子供の頃には、どこでも夏になると水が足りなくなり、朝の9時から夕方の4時まで水が止まるというようなことがあったが、最近は水道事業、下水道事業の発達によりそのようなこともなくなった。
- ・今後は、気候変動ということが一つ心配の種になるのかと考えている。
- ・今日は、これまで議論してきた久御山町下水道ビジョンについて、パブリックコメントを経て、その修正と、それから答申案の審議ということになり、いよいよこの会も大詰めということで、審議に協力をお願いしたい。

### 3 議事

#### (1) パブリックコメントの結果報告について

－事務局説明－

#### (2) 久御山町下水道ビジョン（案）の修正について

－事務局説明－

#### 会長

- ・パブリックコメントの内容にもよるが、今般のパブリックコメントは、使用料改定を見送ったということもあり、閲覧があってもなかなか意見がなかったのではないかと思う。
- ・他の自治体でも、上下水道や税金などのパブリックコメントを実施しても、感染症のまん延下で反応が大きいかと思ったら逆に少なく、例年の十分の一くらいになったというところがある。
- ・何が原因かは分からないが、ホームページ等にアクセスしていただいたうえで意見がないということは、それらの方は大きな意見がなかったということだと思う。
- ・出てきた三つの意見にしっかり対応していくということが大事である。

#### 副会長

- ・意見をいただいた方は、上下水道に関わっている関係者か一般の住民か、どういう方が教えていただきたい。

#### 事務局

- ・意見をいただいた方は、在勤、在住、それぞれ1名ずつで、在住の方は下水道関係の〇Ｂで、在勤の方は役場の職員となっている。

#### 副会長

- ・詳しい内容の意見だと思ったため、どういう方かと思い確認した。

#### 会長

- ・No. 1やNo. 3の意見は、かなり専門的な観点から書かれており、やはり事情に通じている方かと思ったが、大変重要な意見だと思う。
- ・No. 1の意見については、京都府の用水供給事業や流域下水道の関連市町の中では、退職者を継続的に人材として活用するという案が出ており、実際に進んでいるそうだが、今のところはそれほど継続的に勤める人の数は増えていないということらしい。
- ・今後、退職者の中から希望者に継続的に働いていただくことの整備も必要ではないかと思う。

#### 委員

- ・近隣市町では、料金引き上げという話題があるがゆえに、メディアにも取り上げられるケースが多いかと思うが、今回、その部分では見直しができないということが、このパブリックコメントの結果になっていると思う。
- ・概要版もしっかりしたものを作ったので、町民にこの存在を知っていただけるよう、アナウンスの仕方、広報のあり方も、今後、DXも含めて考えていくことが必要と感じた。

#### 会長

- ・広報については、料金の問題もさることながら、下水道の今後の更新投資の考え方や一般

会計からの繰入れ、資金計画とのあり方等についても、知っていただくということが非常に大事である。

- ・この前も和歌山で水管橋の崩落があったが、今後、そのような心配が出てくる。
- ・下水道はまだ施設が比較的新しいが、それでも年月が経てばそういった問題が起こってくるため、今のうちから計画的に投資計画や資金計画を整備することが大事である。
- ・今般の下水道ビジョンは、そういった観点もしっかりと折り込んであるということを知っていただくことが非常に大事である。

#### 委員

- ・三つの意見ともにこの審議会で議論されたことで、人材についてはもっと予算が付けばという思いもあるが、削減してきた経過もあり仕方がないというところもあり、パブリックコメントに対する回答は適切ではないかと思う。

### (3) 答申（案）の修正について

#### －事務局説明－

#### 会長

- ・今後の整備、普及に係る一般会計繰入金について、意見された委員はいかがでしょうか。

#### 委員

- ・趣旨を踏まえて検討するよという形で記載してあり、次の方もこの趣旨で検討していただけると感じており、また議会との関係もあるため、このくらいの書き方で良いと思う。

#### 会長

- ・この観点こそ、町外にアナウンスすべきことだと思う。
- ・新しい住宅街の下水道整備についても町が関与するということはありがたいことであり、住民の流入という面で有効ではないかと思う。

#### 委員

- ・結果的に下水道使用料が、当面の間は現状維持ということで、一安心と感じている。
- ・ただ、やはり大口使用者が、例えば久御山町から出ていたりということもあり得るため、住民に理解していただけるような文言を追加し、ずっとこのままというわけではないということをお知らせすることは良いと思う。

#### 会長

- ・事業者（大口使用者）に高い使用料を払っていただいているということ、同時にアナウンスするという意味でも、非常に良いことではないかと思う。

#### 委員

- ・委員の意見が反映した形になっているという印象を受けている。
- ・今回基準外繰入について、久御山町として令和3年度以前に起債した企業債の元金償還額の40%という基準を作り、指針を示せたことが良かったと感じている。
- ・基準外繰入のあり方については、他の委員からはもっと入れても良いとの意見もあったが、私としては一定の抑制も必要という意見を持っており、その辺のバランスを取った基準に落とし込んでいただけたと思っている。

#### 会長

- ・他の自治体で実施しているところがあるが、例えば下水道事業に長期間使用しない資金が

貯まれば、それを別の事業に短期間融通するといった取組も、通常の借入れより経費削減が図れるため検討しても良いと思う。

- ・これで下水道ビジョンが出来上がり、答申として返すこととなるが、審議に当たっての感想や今後の課題など、委員に一言ずつ発言いただきたい。

#### 委員

- ・下水道と離れるが、最近テレビなどで上水道のあり方がよく特集されており、節水だけが良いわけではないということや、みんなで使ってこそその負担ということ、水道料金のあり方と公共性ということについて、日本のみんなが分かってくれていってるようで嬉しいと感じている。
- ・琵琶湖の水位が下がっていることについて、本町の井戸が一つ休止している状況のなか、本当に琵琶湖から水がなくなったときに久御山町は安泰なのかということ、機会があれば聞いてみたいと思っていた。

#### 事務局

- ・琵琶湖もそうであるが、日吉ダムでも水位が下がっていることを受けて、本日昼から湯水についての対策会議が、京都府営水道の主導の下、開催される予定である。
- ・ただ、京都府は水源に恵まれており、また、委員が言われたとおり地下水もあるため、久御山町単独では、それほど影響を受けるものではないと担当としては考えている。
- ・こういったことに対して意識を持っていただいているということは、大変ありがたいことだと感じている。

#### 委員

- ・他の町民の方たちにも、本当にみんなが努力して普通に水が使えるということ、そういう状況が当たり前ではないということを知っていただきたいと思っている。

#### 委員

- ・確かに一住民として、今まで上下水道について正直そこまで意識していなかったが、このように本審議会で話を聞いて、やはり今までとは違う観点で、いつもは当たり前にも何も考えずに使用していたのが今は考える機会が増え、これから使用料金などについても、考えていく機会が増えてきたと思っている。

#### 会長

- ・上下水道は、道路と並んで都市の最大のインフラであり、このインフラをいかに将来に亘って良好な資産として残していくかということが、今後大変大事になる。
- ・特に上水道は、料金改定にも繋がってしまうが、使用者にご理解いただきながら、この都市インフラをアセットとして残していくかということが、非常に大事な観点である。
- ・委員にも、知人等にそういった話を口コミでしていただけたらと思う。

#### 委員

- ・私も、下水道の仕組みから財政の仕組みまで全然知らない状況のなかで、この審議会に携わることができて、いろいろ勉強させていただいた。
- ・久御山町の財政状況のなかで、企業債を抑えながらという部分や、一般会計からの繰入金の考え方のメッセージを訴えられるというのは、本会でいろいろな意見が出た結果である。
- ・他の市町の状況を見ると、足下の状況に対する対応をしなければならず、そこまで広く検討ができないなかで、新しい目で、メッセージを発信できたということは一つの成果だと

思う。

- ・環境の変化もあるかと思うが、市町の発展のなかで、新たな変化に対応する前向きな対応を引き続き検討するよう進めていただきたいと思う。

#### 委員

- ・自分が担当していた時代は、右肩上がりでの建設の時代であったが、それから大きな変化があり、今は維持管理、施設をどう改修するかという時代になった。
- ・そうなってくると、やはり住民に十分説明するなかで、料金改定などしていかなければならない。
- ・維持管理の時代になり、職員は縮小され、技術者も少なくなるが、そういうことを住民に十分説明し、ご理解いただくなかで、料金改定などをしなければならぬため、職員としては大変しんどい時代に入ってきたと思う。

#### 会長

- ・日本でこのような社会資本のデータが公表されたのは80年代の初めくらいだが、当時、大学でそれを計算機にかけ、演算処理を行った。
- ・その結果、当時の日本のGDPの22%は、上下水道を含め、道路、公安、空港などの社会資本の貢献によって成り立っていた。
- ・それから後は、労働力が50%強であり、民間の資本ストック、現在では550兆のGDPを作るのに、価格で1,300兆ぐらいの機械が必要であるが、その機械全体が24%ぐらいという結果であった。
- ・80年代後半は、生活関連の社会資本整備が課題となっており、まさに下水道が90年代に整備されると、これから先もどんどん整備が必要だと思っていたが、同時に自分が引退するころには、高齢化のなかでこの更新投資が問題になるだろうと思っていた。

#### 委員

- ・本当に少数精鋭だと感じているが、今後、時代としては人が増えることはないように思う。
- ・自分の業界でも人が増えることはなく、今後どんどん人が減っていくなかで、重要な部分だけ人がやる、そうでない部分はAIやクラウドといった部分に置き換え、ツールを活用してやっていくという時代になっていく。
- ・下水道事業においても、大事な部分は次の世代に技術を伝承し、そうでない部分はツールを活用して効率化していく、そういう時代になっていくと、人材についてのパブリックコメントがあったが、そう思っていた。

#### 副会長

- ・社会がますます少子高齢化など変化し、右肩上がりではない時代がずっと続いていくなかで、社会資本をどのように維持し、活用していくかということが大きな課題になっている。
- ・その一方で、国を始め、社会情勢の変化にどのように対応すべきかという議論も進められており、特にAIやICTなどを活用した上下水道関係の技術開発も、研究や実装手前の段階での検証が続けられているが、そういった動きにも関心を持って情報収集し、適切な技術などを積極的に活用して、下水道を継続して住民に利用いただけるような取組をしていただくよう期待している。

(4) 今後のスケジュールについて

－事務局説明－

4 閉会

※ 閉会の挨拶

事務局

- ・12月中旬に会長から町長に答申いただく時点まで来たということで、厚く御礼申し上げます。
- ・議論のなかで印象に残ったワードとして、都市インフラとしての上下水道ということがあったが、委員に参画いただいているこの審議会の仕組みを活かして、DX時代に則した手法を用いて、広く一般の方々に知っていただくような仕掛けをする必要性を強く感じた。
- ・職員の確保でいろいろと心配いただいているが、パブリックコメントの意見の回答でもあったように、今後は広域連携のあり方とDX時代に合った技術の導入により、なんとか都市インフラを今後支えていかなければならないと再認識した。

【散会】

以 上